

市民活動サポートセンター いなぎ

ニュースレター

No.34

2010.10.15

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

FAX042-378-6971

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

▼2009フォーラムの様子



いなぎ市民活動フォーラム2010

- 日 時 / 11月20日 (土)
午後1~4時
- 会 場 / 稲城市地域振興プラザ4F
- 参加費 / 300円 (資料代)
- 申込み / 11月13日 (土) までに
※下記サポートセンターへお申込み下さい。
- 主 催 / NPO法人市民活動サポートセンターいなぎ

プログラム

第1部 パネルディスカッション

テーマ「施設の有効活用をもっと!もっと!」

市内の教育・子育て、福祉、環境、文化・スポーツなどの各分野で活動している団体の方々に、市内にある既存の施設や公営住宅の空き家など、様々な施設を「こんなふうに使えたらいいな」という提案をして頂きます。

また、実現している他市の例もヒントに、実現の方法を探ります。

第2部 グループ討議・まとめ

小グループに分かれて具体的な活用方法・内容について協働のまちづくりの視点から話し合います。話し合いの内容は、グループごとにまとめて発表し合います。

【問合せ・申込み】

市民活動サポートセンター (協働推進課内) 042-378-2112

支えあうまち
稲城をつくる

【協働の（まちづくり）指針】ってなぁ～に？

最近よく、まちづくりは市民と行政とが協働して進めることが望ましいと言われます。

またそれを推進するためには、その指標となる「協働の（まちづくり）に関する指針」（以下「協働の指針」）があったほうがいいとも言われます。

そこでここでは、協働の指針について取り上げてみました。

●協働のまちづくり

とは何か

「協働のまちづくり」とは、異なる発想と行動力を持つ市民や企業と行政が、対等のパートナーとしてお互いの役割と責任を意識し、住みやすいまちを協力してつくっていくことです。

これは特段新しいまちづくりの手法というわけではなく、現在も環境美化デーや多摩川清掃、防犯パトロール、自主防災活動などで取り組まれていることです。このように様々な分野で、また様々な市民組織や市民活動団体の活動として実践され

てきています。

ただし、「協働のまちづくり」を進める上で大事な視点は、行政が単に負担を軽くするために、その責任を市民や団体などに押し付け、業務を委ねるものではないという意識をもって取り組むことです。

公共的課題の解決という目的を、市民、市民活動団体、企業などと行政が共有し、公共的サービスの在り方を対等な立場で話し合い、お互いの持てる知恵や力を出し合い、出来ることから取り組んでいこうとする手法が協働のまちづくりなのです。

●協働の指針

とは何か

最近では市民ニーズが多様化・複雑化しており、それに対応するためには、市民などと行政が協働して課題解決を図っていくことが求められ、それを推進するためには、共通の認識をもちながら取り組んでいく必要があります。

「協働の指針」とは、その考え方や方向性などを明確にしたもので、言ってみれば協働を実践していくための指標となるものです。

従って、市民が安心して暮らせるより良いまちを、市民と行政が一緒になってつくっていくためには、「協働の指針」はどうしても必要となってきます。

稲城市でも今後、「協働の指針」策定に向けて取り組んでいきたいと考えています。

（小川）

第6回子育て応援フェスタ

～みんなで子育て 世代を越えて～

- 日時／11月14日（日） 10時～12時
※開場は9時30分から
- 会場／第四文化センター

★当日乳幼児用品のパナーもあります。



▲昨年の子育て応援フェスタから

九月

「私の国際交流」

話し手：金子 和子さん

金子さんの国際交流の原点は1970年 アメリカ南ダコタ州立大学の大学院への留学だったそうです。南ダコタは大きな岩に彫られた4人の大統領の顔のモニュメントで有名なおとこです。

留学のきっかけは、ライオンズクラブ東京大会で、南ダコタのハッドさんに出会ったことです。その交流が縁でスカラシップを受け、ご夫婦一緒に留学が実現しました。

その後、1992年にはバーモント州の大学のサマースクールに参加、そこで「フォーキッズ・オブ・バーモント」の団長ご夫妻と出会い、それが縁で1993年と2007年の2度も、稲城市を訪問していただき、歌と踊りを披露していただくことになりました。

留学中に会った方々や、お世話になった方、生活環境など、写真を拝見しながらのユーモアたっぷりの話の中で、時折、同席のご主人からの説明もあり、アットホームな雰囲気です。1時間があっという間に過ぎてしまいました。(稲垣)

十月

「旧東海道気まま旅」

話し手：吉井 四郎さん

在職中に行った長い旅ということで、非常に興味を覚えました。仕事があるので、①歩くのは土日だけ、②宿泊はしない、③名産品を買わないという主義を通したので、経費は約20万円、そのほとんどが新幹線代でした。

旧東海道は約500km、その53次(宿場)を先人は通常12泊掛けて踏破したそうですが、吉井さんは何と7年も掛かりました。

というのも、1日歩いて日が暮れると東村山の自宅に戻り、次の旅は前回の所まで新幹線などで行き、そこから次の宿場を目指して歩き始めるという繰り返しだったからです。

この旅で得られたことを幾つか挙げてくれましたが、その一つ《自宅から京都まで地続きだと分った》当たり前のことなのに何か共感できました。お話を伺って、これは旅と言うより、吉井さんの生活の一部のような気がしました。もう次の道中旅を開始されたようですが、無事踏破されることをお祈りしています。(佐藤)

「社会貢献活動支援制度策定会議」

★ 前回の報告以降3回会議がもたれ、制度の骨子についてはほぼ固まりつつあります。

★ どういった事業に対してポイントが付すかは、申請をしてもらって、事業認定審査会(以下「審査会」)が決めるという考え方でほぼ合意が得られています。

★ それだけに審査会の位置付けは重要になってきますので、審査会の機能や事業を認定するにあたっての審査基準、委員構成などについてかなり時間を割いて話し合いが行われました。

★ ポイントの付与は個人を対象とし、付与方法

★ は活動への参加者にカードを発行し、そのカードに事業の実施者が承認印を押すという案が有力になっています。

★ また、溜まったポイントは現金化できることを基本としつつも、本人の意思により、市民活動団体に寄付できるようにしようという案も出されています。

★ 論議もそろそろ最終段階にさしかかってきていますが、細部についてはまだ詰めきれないところも多々あります。

★ そこで今後は、幾つかの事業をモデル的に取り上げ、試行的に実施してみ、その結果も踏まえながら最終的な制度設計を行っていくことになっています。

(小林)

● 市民活動サポートセンター実技講座 ●

パソコンで名刺をつくろう

パソコンを使って名刺を作ってみませんか。今回は団体やサークルの活動に役立つ名刺の作り方を学びます。

- ◆ 期日 / 11月14日(日)
- ◆ 時間 / 10～15時まで
(途中昼休みあり)
- ◆ 場所 / 中央公民館4階展示室
- ◆ 費用 / 1,000円(サポートセンター会員は600円)
- ◆ 講師・スタッフ / パソコン
楽らくクラブのみなさん
- ◆ 定員 / 15名
- ◆ 対象 / 文字入力のできる方
- ◆ 持ち物 / ①パソコン(普段

使い慣れたパソコンをご持参ください。会場のパソコンを使うこともできます)

- ②USBメモリー(自作したデータを持ち帰るため)
- ③筆記用具

- ◆ 申込方法 / 電話またはメールで
- ◆ 申込期限 / 11月8日(月)
- ◆ 申込み・問合せ
市民活動サポートセンター
(協働推進課)
電話 : 042-378-2112
メール : info@i-inagi-support.org

講座の予告

ファシリテーター養成講座を12月15日(水)、16日(木)、20日(月)の3回連続で予定しています。いずれも午後1時半～3時半で、会場は地域振興プラザ4階会議室、講師は桜井高志さんです。

今年の夏は記録的な暑さで、一時はどうなることかと思っていました。でも季節は正直なものです。このところ吹く風もすっかり秋めいてきて、萩の花が今が盛りと咲き誇っています。

今回もいくつかの事業を掲載しましたが、サポートセンターの活動もこれからがいよいよ本番です。きつと素敵な出会いが生まれると思いますので、ぜひお気軽にご参加ください。お待ちしております。

編集後記

午後7～9時

金曜サロンスペシャル

■ 11月5日(金)

- ・話し手 : 宮崎 光弘さん
(稲城市サッカー連盟副会長・稲城市職員)
- ・テーマ : 「稲城のサッカーについて」

宮崎さんは稲城市の選抜チームでも選手・監督として活躍され、現在も連盟の役員として精力的に活動を続けています。

今回は、稲城市におけるサッカーの振興や展望、世界の中における日本サッカーの未来など、ご自身のエピソードを交えながら楽しくお話をさせていただきます。

■ 12月3日(金)

- ・話し手 : 川野 克己さん
(稲城カクタ会・稲城市かるた協会・南多摩かるた会 代表)
- ・テーマ : 「かるた取りの愉しみ」

川野さんが稲城市内でかるた会を立ち上げて13年になります。

かるた取りは、人と人とを繋ぎ、老若男女に関係なく対等に競うことが出来る平等なゲームです。その魅力を中心に、活動実績などを含めてお話をさせていただきます。

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円